

会 議 録

| | | | |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|
| 会 議 名 | 第20期小金井市公民館企画実行委員の会議 第18回 | | |
| 事 務 局 | 公民館貫井南分館 | | |
| 開 催 日 時 | 平成22年2月2日(火) 午前9時30分～正午 | | |
| 開 催 場 所 | 公民館貫井南分館学習室C | | |
| 出 席 委 員 | 安部まり子委員、伊藤清委員、瀬上ゆき委員、妻木誠二委員、前川正治委員、松浦妙子委員 | | |
| 欠 席 委 員 | | | |
| 事 務 局 員 | 松本浩明主査、渡邊正志、山崎光昭 | | |
| 傍 聴 の 可 否 | 可 | 傍聴者数 | なし |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会 議 次 第 | <p>1 公民館運営審議会の報告(1月22日開催)</p> <p>2 各講座の報告と計画 [報告] 国際交流イベント「初釜」 [計画] 成人学校「坂の上の雲」、「歴史と文学散策」</p> <p>4 その他 成人学校「自分を守る力、そして、人を守る力を伝えていきたい」・リフレッシュ・ヨーガ、「江戸野菜に親しもう」他</p> <p>次回の日程について 平成22年3月2日(火) 午前9時30分～</p> | | |

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会の報告（1月22日開催）

（1）第47回東京都公民館研究大会について

12月13日開催、参加者351人。1月15日、最後の企画委員会を開催し、各課題別集会毎に報告。

（2）都公連委員部会研修会、委員部会運営委員会について

1月27日、運営委員会を開催予定。2月21日、研修会を開催予定。それぞれ出席者の決定。できれば担当を決め、同じ人が継続的に出席することが望ましい。

（3）三者合同研修会について

2月2日、開催予定。出席者の確認。（6人参加予定）

（4）公民館事業の報告及び計画

貫井南分館からは、事業の報告として市民講座「映像でつづる昭和の歴史」、成人学校「旧東ドイツへの旅」・「滝めぐり」、高齢者学級「けやき学級」、音楽鑑賞のつどい「ツイッターへの誘い」を提出。特に質疑なし。計画は、成人学校「自分を守る力、そして人を守る力を伝えていきたい」、「歴史と文学散策」、「坂の上の雲」を提出。特に質疑なし。

（5）来年度の重点項目「ホームページ」「月刊こうみんかん」について

市民参加で編集・企画、市ホームページから公民館までたどりつけない、公民館のページはないに等しい、先進市への視察、手作り印刷、全戸配布、横組みレイアウト、回覧板の綴じ方が見づらい、町会のない地域は回覧板がないため読めない、等。

（6）三者懇談会のテーマについて

5月開催予定の三者懇談会について、3月に担当者が集まり、取り上げるテーマについて話し合う。公民館としてどんなテーマを要望するか。

○外部委託、その条件は何か、等

○外部委託を取り上げることに反対。図書館の委託はボツになった。市民への影響が大きい。

○行政と市民のつながりのデザイン、社会教育全体の展望について

○市民協働、公と民の連携について

○施設をより多くの市民が利用するにはどうしたらよいか？

(7) その他

次回、第5回審議会は、2月26日（金）午後1時30分～3時 本館にて。

2 各講座の報告と計画

【報告】

○国際交流イベント「初釜」

1月16日（土）午後1時から3時、老人いこいの部屋で実施。定員30人のところ、応募が10人、当日参加を含め合計38人となった。内外国人は13人で国籍は、エジプト、バングラディッシュ、ベトナム、タイ、インドネシアの方で、その殆どが東京農工大学の留学生であった。電話での申し込みが少ないのが残念であるが、当日には沢山の方が参加されたので良かったが、お菓子の手配が難しい。今回、地域の方から協力をいただき、青竹を提供していただいて会場の雰囲気作りに一役かっただけだったことは、大変助かった。

【計画】

○成人学校「坂の上の雲」

タイトルについては、山田有策先生に了承を得ている。3月10日（水）は「正岡子規と秋山兄弟」、17日（水）は「秋山兄弟と日露戦争」として実施。申し込みについては、ファックスによる応募は、応募多数になることが予想されることから時間的な混乱が生じる恐れがあるので、市報（2月15日号）では除いた。

○成人学校「歴史と文学散策」

1月26日（火）に実踏を行った結果、当初、書道博物館を訪ねる予定だったが、当日は作品入れ替えのため休館となることから来館しないこととする。スケジュールは、旧岩崎邸庭園から子規庵、昼食と休憩のため三菱養和会を経て、鳩山会館となる。鳩山会館は3月は混雑が予想される。費用は入館料として、一人一律千200円を当日の朝に徴収し、昼食代については、昼食後にお支払いしていただくこととする。今回も前回同様、申し込みが多いことが予想される。

3 その他

○成人学校「自分を守る力、そして、人を守る力を伝えていきたい」

2月13日（土）午後1時から3時に学習室A・Bで実施。午前中には、防火防災訓練を実施。起震車体験、煙ハウスでの煙体験、AEDの講習を行う。お昼には米5キログラムで炊き出しを行い、食べられなかった方には非常食のアルファ米を200食用意する。また、中組自治会の女性たちに汁物を作ってもらいます。今回は、避難訓練は やらず、館内放送で訓練の案内を放送することとする。

○成人学校「リフレッシュ・ヨーガ」

1月15日（金）から4回、あと2月5日を残すところとなった。感想を数人に書いてもらったが、参加して良かった、保育のある講座をもっと行ってほしいという声が上がっていた。年齢の幅が広いことから今後も行っていきたい講座である。フロアーに敷くジュウタンがもっとあればと思う。

○子ども体験講座「ぬくい少年少女囲碁クラブ冬季大会」

今回は、指導者が少なくなってきたこととインフルエンザの影響から考慮し、練習日は設定せず、3月7日（日）の本大会のみとなる。講師の体制から来年度は見合わせる方向となる予定。

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

今年度は、3月14日（月）に閉校式を迎え、来年度は、4月5日（月）開講式を東京学芸大学の教室を借りて行い、12日（月）から作業開始を予定している。また、交流と植物の勉強を兼ね野外学習を、6月にサクランボ狩り、8月には小菅村にある東京学芸大学の実験農場、更に1回果樹園に行く予定をしている。2月15日（月）に在学者に希望を採り、新たな枠を市報3月15日で募集をかけることとする。

○成人学校「植物観察会」

4月27日（火）に市マイクロバスで茨城県つくば市の植物園と森林研究所へ行く予定。

○男女共同参画講座

2月12日（金）に男女共同参画室の職員に同席していただき準備会を行う。実際の開催時期は、6月中旬から7月にかけての予定をしている。

○市民講座「映像でつづる昭和の歴史」

前回の受講者からの希望で、温かい時期の開催として7月を予定している。講師には早急に日程と内容の相談を必要とする。

次回の予定

3月2日（火）午前9時30分～